

スペシャルサイエンスデー 2019
Special Science Day 2019

札幌市青少年科学館
Sapporo Science Center

[実施日]

2019年10月5日～年月日

[実施場所]

札幌市青少年科学館

[関連の深い Goal]

- Goal 1 貧困をなくそう
- Goal 2 飢餓をゼロに
- Goal 3 すべての人に健康と福祉を
- Goal 4 質の高い教育をみんなに
- Goal 5 ジェンダー平等を実現しよう
- Goal 6 安全な水とトイレを世界中
- Goal 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- Goal 8 働きがいも経済成長も
- Goal 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- Goal 10 人や国の不平等をなくそう
- Goal 11 住み続けられるまちづくりを
- Goal 12 つくる責任 つかう責任
- Goal 13 気象変動に具体的な対策を
- Goal 14 海の豊かさを守ろう
- Goal 15 陸の豊かさも守ろう
- Goal 16 平和と公正をすべての人に
- Goal 17 パートナーシップで目標を達成しよう

[実施報告]

札幌市青少年科学館では、2019年10月5日(土)に、これからの世界のために、科学と科学技術について考えることを目的に「スペシャルサイエンスデー」を開催しました。2回目となる今回のテーマは「地球をまるごとサイエンス」。子どもから大人まで幅広い市民の方々に、環境や災害などの問題を地球規模で考えてもらおうと、講演会や体験・実験イ

ベント、クイズ大会やパネル展などを開催しました。

講演会では、南極観測隊で地学調査にフィールドアシスタントとして参加した阿部幹雄さんを招き、南極の自然の過酷さとそこで調査する意義についてお話していただきました。阿部さんを中心に観測隊が開発したフリーズドライ食品が、現在では日本人宇宙飛行士の宇宙食としても使われていることも紹介され、参加者は日本の南極観測とそこから生まれた科学技術の広がりには驚いていました。

地球科学分野の研究機関や団体が参加した「ジオ・フェスティバル」では、環境問題、自然災害、防災など様々な体験・実験ブースを出展しました。

館内入り口のエントランスには「クイズで学ぼう SDG パネル展」を展示しました。環境、貧困、教育などSDGsの17分野について○×形式のクイズボードで学べる展示を行い、親子で話しながら、答えをめくる姿が見られました。

このほかにも、水族館の飼育員による海や魚に関するクイズ大会などSDGsの取り組みを啓発するイベントを行いました。



満席の講演会会場



ジオ・フェスティバルで地形を学ぶ子どもたち



クイズで学ぼう SDGs パネル展を楽しむ参加者